

NPO法人 ニッポン・アクティブライフ・クラブ

ナルク (NALC) 宝塚・川西・伊丹・猪名川

ささえあい

4月号



満願寺の枝垂れ桜

事務所 〒666-0015 川西市小花2丁目25-1

TEL・FAX 072-759-3269

メール nalc.sasaeai@gmail.com

HP [ナルク宝塚・川西] 検索

会員数 3月31日 現在

151世帯・会員216名・賛助会員16名

本年度の活動方針（案）

平塚圭彦（代表）

本年度の活動方針（案）を策定しましたので、皆様にお知らせしますとともにご理解とご協力をお願いいたします。

「会員増強」

2016年11月250名のピークに比べると、今年は35名の減少です。要因は死亡、高齢で活動が出来なくなった、子女のもとに転居などでの退会です。最も困ることは活動会員の減少です。このためにナルク本来の助け合い活動が沈滞していることです。種々の手を打っていますが思うようになりません。しかし、根負けせずに最も効果のある「声掛け活動」を一層積極的に行っていきます。

「登録票の見直しによる助け合い活動の活性化」

今までの登録票は多くの方が入会当時のものであり、現在とは状況が変化しているので先般登録票の更新により現状把握を行いました。同時に利用会員・活動会員の見直しが出来たので、これを踏まえて助け合い活動の活性化に努めます。

「行政・社協との連携」

高齢者（65歳以上）の要支援1・2の方の介護予防・日常生活支援が市町村で取り組むようになったことにより、現在行政・社協が対応に苦慮しているが、近い将来地域やナルクのような団体への依頼が高まってくると思えるので、会議などに出席して情報収集を行います。

「見守りたい活動の充実」

現在、もしもコールを行っており対象者には好評であるが、さらに突っ込んで高齢会員、特に独居者の家庭環境や生活状況の実態を把握して、電話だけのフォローでなしに、会報手配り時などの声掛け運動や場合によっては、家庭訪問などを行って助け合い活動を一層積極的に推進していきます

第6回兵庫エリア会議の報告

厚東信之（副代表）

掲題会議が本部から神野会長出席のもと、神戸市立東灘区民センターで東神戸拠点の幹事で開催され、平塚代表と私が出席しました。各拠点の代表・事務局長12名、東神戸拠点から運営委員の方5名の出席がありました。

冒頭に神野会長より、1) 今後3年間の計画を策定中、2) 5月28日の25周年記念式典について、3) 会員の減少がナルク全体で年間500名、入会者1000名程度（内70歳未満が3割近く）いる旨の報告後、各拠点の活動状況報告（会員増強・時間預託活動、総合事業）に続いて質疑応答がありました。

当拠点の2月末までの時間預託点数が2224ポイントに対して、他拠点より驚きの声上がり、また、拠点事務所に毎月5~6万円の家賃をは払っていることにも、その調達方法について質問がありました。最後に25周年式典の実行委員の守上理事（芦屋拠点代表）より、基調講演に「堀田力」氏が決まり、多くの方の参加を期待するとの発言で終了しました。

なお、25周年記念式典に花を添えるべく、当拠点から白井修さんが手彫りの能面を出展されますので、ご参加のみなさんは是非ご覧下さい。

2018 年度の活動者名ご報告

事務局

仕事援助	「庭仕事（剪定・消毒・肥料散布）、庭仕事（掃除・草抜き・植木の散水）」 大野晏稔、大矢登、厚東信之、諸岡茂昭、米田典夫、
家事援助	「掃除」 浅川美子、平塚久恵、大野晏稔、金杉マチ子、北川京子、高橋須磨子、安岡和子 伊藤恵美子、北村千鶴子、泉渥子、北岸博子、
見守り・外出介助	田川幸子、藤森美代子、
送迎	大野晏稔、小倉智子、
受託事業	「宝塚ちどり」 上西蓮英、池田早苗、長尾孝子、平塚久恵、平塚圭彦、藤井邦子、三上ひろ子、 安井清・理恵子、岸美佐子、石原朱実、真田宣子、長田恵美子、小金丸奈加子、 近藤民栄子、直木道子 「うぐいすの森」 上西智恵子、小幡和子、金杉マチ子、北川京子、高橋須磨子、狩野勇、 厚東信之、厚東恵美子、夢田悦子、安井理恵子、安武雅子、柳田きぬ、米田典夫、 米田和夫、富田啓子
サポート活動	「事務所当番」 対象者多数につきスペースなきため、割愛させていただきます 「事務局業務」 中田年平、北川京子、平塚圭彦 「講師」 比谷光子（フラ体操）、藤井邦子（手芸）、井上堅也（パソコン）、小幡和子（歌う会） 「コーディネーター」 大野晏稔、厚東信之、平塚圭彦
会計	大野晏稔
会報編集	狩野勇、安武雅子、金杉マチ子、井上堅也、平塚圭彦
ホームページ	中田年平、井上堅也
ナルク活動	「会報手配り」17名、会報仕分け 10名、多数に付き割愛させていただきます
奉仕活動	「学童保育支援」 大村輝子、宝塚ちどり納涼祭 7名、川西フェスタ 5名、猪名川まつり 12名 「猪名川クリーン作戦」 7名、エイジ・ガーデン宝塚旭町 12名

※記載漏れの方がいましたら、ご容赦ください。

3 月の入会者

事務局

* 岡澤敏郎・節子さん 宝塚市月見山
色々な行事に参加して楽しんで下さい。

行事予定

事務局

6月1日（土）	らくごくらぶ	10：00～16：00	阪神競馬場
6月16日（日）	第 24 回定時総会	10：00～16：00	宝塚東公民館



時間預託活動と点数

事務局

	仕事 援助	家事 援助	受託 事業	送 迎	事務所 当番等	コーディネ ーター	講 師	活 動 合 計	活動 会員数
3 月 度	0	13	60	0	67	3	3	146	27
2018 年 度 累 計	425	176	755	54	853	42	65	2,370	403

運営委員会議事録

事務局

開催日時 3月13日(水) 13:30~15:30 於:事務所 出席者 11名

「2月の活動報告」

- ・仕事援助(庭仕事)(大野) 寒肥
- ・家事援助(平塚・大野) Uさん3月は1回、Zさん5回/月になると対応が心配
- ・介助・送迎(大野) 次の予定なし
- ・受託企業 宝塚ちどり、うぐいすの森とも対応者に体調不良が増えて苦しい状況

「議題」

- 1) 会員増強策について(平塚)…運営委員に意見具申
37歳の女性、55歳の女性、に期待したが、NGだった。
- 2) 本部、第25回定時総会と25周年記念式典について(平塚・厚東)……5月28日(火)
大阪ドーンセンターにて開催 出席者:平塚(総会) 傍聴と講演、作品展(厚東・大野・鶴崎) 懇親会(平塚・厚東・米田)
- 3) 第6回兵庫エリア会議の件(平塚)…3月15日(金)東灘区区民センターにて東神戸拠点が当番
平塚・厚東が出席
- 4) 研修の件(平塚)……コーディネーター:3月28日(木) 13:30~16:00 事務所にて
運営委員から、平塚、大野、狩野、渡辺、北川の皆さんが参加 一般会員を探す
- 5) 次期運営委員について(平塚)……安武さん、金杉さん、石原さん 3名退任申し入れあり
藤井さん、安岡さん、小幡さん受任 他にあたること
- 6) “パレットかわにしフェスタ”参加について(中田・厚東)……6月29日(土)~30日(日)
両日の担当を確認

【コーディネーター研修を無事終えました】

事務局

3月28日(木) 13:30~15:45 事務所で8名が出席のもと、本部の西村事務局長を講師にお招きしてパワーポイントを使って、時間預託制度を中心にコーディネーターの役割など詳しく説明していただきました。

時間預託制度については、大方の皆さんは入会時の研修で勉強していただきましたが、時間とともに忘れてしまっていたので、今回の研修でしっかり理解できたとのことでした。

中でも遠距離介護、墓守に人気があり関心が高いとの声が出ていました。

また、今回の研修でコーディネーターの役割は利用者の要求がエスカレートしてくることが多いので、利用者、提供者との3者の話し合いで、最初の決めごとをきっちりさせて対応すべきことが大事と教わりました。今後コーディネーター役に挑戦しようという声が出たことが大収穫でした。

参加者:猿渡、長野、比谷、渡辺、大野、狩野、北川、平塚の皆さん

編集委員が変わります

事務局

今までは、狩野勇、井上堅也、安武雅子、金杉マチ子、平塚圭彦のメンバーでしたが、4月からは狩野、井上、近藤民英子、長尾孝子、平塚(5名)の皆さんが担当します。

楽書き帳

【ちょっと聞いて！】

米田典夫(川西)

平成の元号は中国の古典より「内平外成」「地平天成」とあり、いずれも平和が達成されるという意味が込められているそうです。

元号を少し逆のぼると江戸時代は 243 年間で 34 元号があり、平安時代は 399 年間で 87 も元号がありました。

明治以降は一世一元号と定められています。ところで、ひと昔前の大正や昭和が日本のどこかに残っていないかと捜して見ました。

JR 予土線の駅名にありました。愛媛県の北宇和島と高知県の若井間 76.3 km に 20 の駅名があり高知県の十和村に「土佐昭和駅」その隣が「土佐大正駅」となっています。

隣村が大正天皇の御大典を機に大正村と改名したのに刺激され、十和村も昭和村に改名したことにより、昭和 49 年に開通した予土線にこんな駅名が残っていたのです。(平成元年一月社長のひとりごと 33 号より) 自慢話になりますが、ちょっと聞いて、昭和 60 年から、会社での毎月の支払日に職人さんや協力業者の皆さんへお礼の心を伝えようと書き始めた「社長のひとりごと」が 410 号となりました。10 年前に社長を引退するとき、辞めるつもりがまだ続いています。そのひとりごとがナルクの会報ささえあいの「楽書き帳」へと繋がっているのです。「面白かった」と言ってくれる人が一人でもいる限り 5 月からの新元号にも・・・。

文芸コーナー

【小倉百人一首】

『あはれともいふべき人は思ほえて身のいたづらになりぬべきかな』

謙徳公作
けんとくこう

「ぼくのことをしみじみ思ってくれる人はもういやしない 君に捨てられたいまは ぼくはこのままなすべくもなく ああただむなしくこがれ死にに消えていくのか」

田辺聖子訳

【言葉の由来】

『おあいそ』

料理屋やお寿司屋など飲食店で、勘定を払うときに、お客さんが使う言葉です。ところがこの言葉は、最初は店の人が勘定書きを渡す時に使った言葉です。もともと「愛想尽かしをする」とは、歌舞伎の中で、本心とは裏腹に男と縁を切ることを言ったのです。そこから勘定書きを出す時に「愛想尽かしなことです」が「・・・」と店の人が客にいうようになったのです。このように言う方が「お勘定です」というより、柔らかさがあったからです。また、勘定書きを出すと、お客が嫌がって愛想尽かすことから、「おあいそ」というようになったと言っ説もあるようです。

【俳句】

『日向水木一隅てらすしづかさや』

杉木妙子

【短歌】

『ぼけっとしている人などの見当たらぬ乗客の指巧みに動く』 松野綾子

【川柳】

『醍醐味だ逆転さよならホームラン』 お題(逆)

平塚らいてう



『編集後記』

早いもので靖国神社の標本木ソメイヨシノの3本の内、2本の5~6輪咲きを以って開花宣言がありました。今年は例年より1週間ほど早かったようです。競馬通の筆者は7日は(桜花賞)阪神競馬場の桜がほぼ満開の馬場で楽しみました。近くの満願寺、高原寺などの枝垂れ桜は見事な美しさです。いい気候です。鑑賞に行かれて俳句・川柳などで感性をたかめられてはと思います。(平塚記)